

## 1. 観光創造ビジョン・岸和田策定の背景と目的

- 岸和田市は令和5(2023)年に市制施行101年目を迎え、「将来ビジョン・岸和田“新・岸和田”づくりの総合計画」が新たにスタートしました。その分野別計画として、新しい観光の一步を踏み出す「観光創造ビジョン・岸和田」を策定しました。
- 本計画では、令和7(2025)年に控えた大阪・関西万博を見据え、めざすべき観光の方針を示し、多種多様な業種が関係する裾野の広い観光創造の戦略的な取組みを展開することで、「将来ビジョン・岸和田」の基本理念である「笑顔にあふれ、誰もが“幸せ”を感じる都市」の実現をめざします。

## 2. 観光創造ビジョン・岸和田の位置づけ及び計画期間と設定年数

- 「将来ビジョン・岸和田」をもとに、各分野の関連計画と整合性を図ります。
- 国や府の観光関連計画との整合性を図ります。
- 令和6(2024)年度から令和11(2029)年度の6年間(前期・後期の3年に設定)として、その方向性を示します。
- 激しく変動する社会情勢や観光状況の変化への対応を可能にするため、毎年度の終了時には、取組みの進捗分析を行い、前期終了年度には、前期の検証と、後期の見直しを行います。

## 3. 岸和田市がめざす観光

### 1. 基本的な考え方・スローガン

<観光創造ビジョン・岸和田の基本的な考え方>

“岸和田オンリーワン”の観光魅力の創造

<観光創造ビジョン・岸和田のスローガン>

岸和田の魅力の世界へ

～笑顔にあふれる“<sup>かんこう</sup>歓幸”の実現～

### 2. 重要視する成果

- A** 観光コンテンツのプロモーション活動の強化
- B** 観光コンテンツの認知度・満足度の向上
- C** 来訪者数の増加

### 4. 主要なターゲットの考え方

時期	前期(令和6年度～令和8年度)	後期(令和9年度～令和11年度)
主要なターゲットエリア	【国内】 京阪神をはじめとする関西圏在住者 及び首都圏・愛知県などからの来訪者 【海外】 関西国際空港への入国が多い東アジア圏	全国へと拡大し、より広域からのインバウンドも視野に入れるが、前期の検証を行い、ターゲットを再設定
主要なターゲット属性	「まつり」「歴史・お城」「食」「サイクリング」に関心がある方	前期の検証を行い、ターゲットを再設定

### 3. 基本方針

3つの基本方針と、基本方針を実行する施策を示します。

#### 基本方針1



「観光のまち岸和田」として認知度を高めるためのプロモーション強化

#### 施策

- ① 岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化
- ② 観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用
- ③ 多様な主体との連携強化

#### 基本方針2



“岸和田オンリーワン”の観光コンテンツの充実

#### 施策

- ① だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化
- ② 豊富な特産品を活かした「食」観光の推進
- ③ 豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信
- ④ 観光コンテンツの周遊促進の強化

#### 基本方針3



「観光のまち岸和田」にふさわしい受入体制の整備・充実

#### 施策

- ① 市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成
- ② 生活にも配慮した観光地としての基盤整備
- ③ 歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座

第3章 岸和田市観光振興計画・第2次岸和田市観光振興計画の検証

1. 岸和田市観光振興計画・第2次岸和田市観光振興計画の概要

これまでに策定した岸和田市観光振興計画(1次計画)、第2次岸和田市観光振興計画(2次計画)の概要を示しています。

2. 岸和田市観光振興計画・第2次岸和田市観光振興計画の目標達成状況

1次計画・2次計画で定めた数値目標と、その達成状況を示しています。

3. 第2次岸和田市観光振興計画行動計画の評価・総括

2次計画における以下の4つの方向性から導き出された基本方針に対する、行動計画の23の取組みの実施状況について、評価を行いました。

課題	方向性
総合的課題	ターゲットの明確化
個別課題A	コンテンツの充実
個別課題B	効果的なプロモーションの実施
個別課題C	受入体制の充実

評価の合計 ○:10 △:9 ×:4

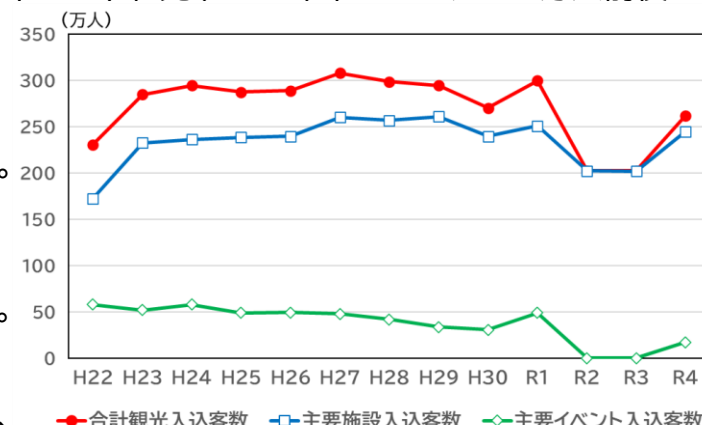
また、方向性ごとに、行動計画の総括を行いました。

第4章 岸和田市の観光の現状

1. 岸和田市の観光の現状

本市の観光入込客数は、平成23(2011)年から令和元(2019)年までは、300万人前後で推移していました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2(2020)・3(2021)年には200万人程度に落ち込みましたが、令和4(2022)年は262万人まで回復しました。国内からの来訪動向は、府内が圧倒的に多くっており、近隣市町が多くを占めます。府外では、近隣府県が多いものの、東京都や愛知県からも一定数含まれます。国外からの来訪は、コロナ前には平成30年以降増加していました。令和4(2022)年度の外国人入込客数は、回復の兆しが見られます。



第4章 岸和田市の観光の現状

2. 各種調査にもとづく岸和田市の観光の分析

本市の観光の実態について、以下の方法で調査を実施しました。

- WEBアンケート調査① (認知度等調査)
- WEBアンケート調査② (非来訪者ニーズ等調査)
- 観光施設留め置き調査
- 事業者アンケート調査
- 事業者ヒアリング調査

3. 岸和田市観光振興計画推進委員会WGでの主な意見

岸和田市観光振興計画推進委員会WGでは、以下の内容について意見聴取を行いました。

- 観光コンテンツについて
- 情報発信について
- ターゲットについて
- 受入体制について

4. 岸和田市の観光の魅力と課題

第3章と第4章の1～3から、本市の観光の魅力と課題について整理しました。

魅力

- ① 市民が誇る豊かな歴史・文化を有するまち
- ② 高い認知度を誇るだんじり祭とだんじり文化を活かしたコンテンツ
- ③ 観光施設への高い評価
- ④ 暖かみがあり、郷土に愛着のある人々
- ⑤ 地形を活かした豊富な水産物・農産物
- ⑥ 立地の良さ

課題 本市の観光の課題は6点あり、以下の3要素に整理できます。

① プロモーションについての課題

- ① 観光地としての認知度が不足
- ② 観光情報が不足・観光情報発信が不十分
- ③ ターゲットに応じた観光戦略が不十分

② コンテンツについての課題

- ① 観光地としての認知度が不足
- ④ 観光コンテンツの開発と魅力の発信が不十分
- ⑤ 事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不十分

③ 受入体制についての課題

- ⑤ 事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不十分
- ⑥ 観光客に対する受入体制が不十分

第5章 観光創造ビジョン・岸和田 アクションプラン

1. アクションプラン / 2. アクションプランの体系

本計画では、時間やコストなどを考慮し、効果的に実行するための具体的な取組みであるアクションプランを、前期と後期に分け、それぞれにおいて重視する方向性と中核活動を明確にします。

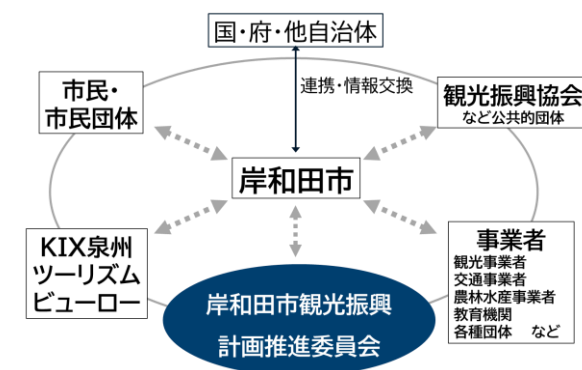
市・各種団体・市民・民間事業者など多様な取組み主体を想定し、具体的なアクションを設定します。

	前期			後期		
	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度 (大阪・関西万博開催年)	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度	令和11(2029)年度
観光振興戦略の方向性	“岸和田オンリーワン”の魅力を知らせてもらう « “観光のまち”として主要コンテンツの認知度向上 »			観光コンテンツの充実を図り市域全体への周遊性を高める « “多様な魅力のあるまち”として市内各所の認知度向上 »		
実現するための中核活動	主要コンテンツのプロモーションの強化			市内各地のコンテンツ開発・磨き上げと個別プロモーション		

第6章 計画実現に向けた推進体制と進行管理

1. 推進体制

観光振興計画推進委員会の中で、進捗状況の分析・検証など、協議を進めます。



2. 進行管理

PDCAサイクルの考え方にに基づき、適切な進行管理に努めます。

